



第四分団 田中分団長

練習のために仕事を早く切り上げて、練習に行かなければならないのが団員の不満になっていること。

団員は地域の人間が多いので、コミュニケーションは、うまくとれている。

庭山 第五分団は、団員の出席率は80%以上と高い。今、2名の方に声をかけているが様子を見ている状況。



第五分団 庭山分団長

地区割りの再編成をしてくれればと思う。また、サラリーマンを勧誘するのはいいが、実際、練習や緊急時に出勤してくれるのが心配。

ある程度の選考も必要では

小玉 欠員をなくすということは、一つの目標ではあるが、だれでもいいのかという問題もあるが。

岩井 誰でもいいとはならない。日頃から人柄を見て人選していかなければと思う。少数精鋭で、ちゃんとできる人が10人ならその方がいい場合もある。

小玉 近隣のある自治体では高齢者が入りたと言ってきたのを断ったという事例もあると聞いている。若い人達に消防団に入っていたらきたい。

矢野 火災では、高所等危険箇所については職員が消火作業にあたり、タンク車所有の分団は消火作業、ポンプ車所有の分団は水利確保および中継作業にあたる。



消防団 矢野団長

消防団員は、特別職地方公務員として位置づけされ、公務員に準じた報酬と費用弁償がある。万一、現場でケガなどをした場合、公務災害と

して補償される。

笹井 第一分団はそれを積み立てて視察研修に行ったり、懇親会をやっている。それを楽しみに頑張る。

分団の合併も視野に

小玉 先ほど庭山分団長から、地区割りの再編成が必要という話があったが、将来的には分団の合併という話にもなるかなと思うが。

高橋 各分団とも、エリア的にはもう十分広い。将来的には考えていかなければと思うが、今すぐではない。また、勧誘には家族の理解も必要、広報とかで周知してほしい。

岩井 合併もひとつの方法。5年先、10年先なら今からコミュニケーションしていかねば間に合わないと思う。また、団員に負担がかからないような工夫も今後考えていかなければならない。

小玉 後援会としては引き続き企業や団体に要請していきたいと思っているが、最後に、行政にやってもらいたいことは。

岩井 行政区の会議にサポーターが割り当てられている。分団にもそのような制度はできないか。

矢野 役場の職員をもっと増員して、もう少し長く在籍してほしい。

意見交換を終えて

団員のなり手不足について、緊急性は感じませんが、だが、どの分団長も、団員の高齢化や新規勧誘の難しさ、そして団員同士のコミュニケーションがいかに大事かを指摘していました。議会としても、今後の団員数の推移を注視し、議会として何ができるのか模索していきたいと思えます。

集まっていたいただいた方々

滝川地区広域消防事務組合

新十津川消防団	団長	矢野光昭	さん
新十津川消防団第一分団	分団長	笹井達也	さん
新十津川消防団第二分団	分団長	岩井美道	さん
新十津川消防団第三分団	分団長	高橋了裕	さん
新十津川消防団第四分団	分団長	田中千久	さん
新十津川消防団第五分団	分団長	庭山智和	さん
新十津川消防団 後援会連合会	会長	小玉博崇	さん (議員)